

「Mighty No. 9」のTVアニメシリーズ化が始動！！



「Mighty No. 9」のTVアニメシリーズ化

北米最大のアニメコンベンション「Anime Expo2014」にて、稲船敬二氏よりアクションゲーム「Mighty No. 9」のTVアニメシリーズ化の始動が発表されました。

「Mighty No. 9」は、「ロックマン」の生みの親でもある稲船敬二氏がクラウドファンディングにて、約400万米ドルもの開発費を調達した、今世界で最も注目されている作品です。

「Mighty No. 9」のTVアニメシリーズは、日本の映像制作会社、株式会社デジタル・フロンティアが企画開発と制作を担当し、全世界におけるTV放送の展開を目指しています。

今後、株式会社デジタル・フロンティアは、全世界において幅広い業界（放送局、玩具メーカー等のライセンスパートナーおよび投資家等）から、企画に関心のある企業等と積極的に交渉を行っていきます。

TVアニメシリーズ「Mighty No. 9」のストーリー概要

戦闘用ロボット「ベック」。世界最強のロボットチーム「マイティ・ナンバーズ」の一員であり、バトル・コロシウムで繰り広げられる格闘大会のために作られたベックだが、残念なことにとっても弱い。ある時、謎のロボット・ウィルスが発生し、瞬く間に世界中に蔓延する。ウィルスは人類を滅ぼすようマイティ・ナンバーズを操り、暴走させる。しかし、なぜか感染を免れたロボットが1体だけいた。ベックである。唯一、心という特殊能力を持ったベックは自分の感情と向き合い、心の弱さに打ち勝つことができるのか。そして仲間たちの暴走を止め、人類を救うことができるのか！

稲船敬二氏の経歴

株式会社カプコンに入社後、「ロックマン」、「バイオハザード2」、「ロスト プラネット」、「デッドライジング」など、世界を舞台にミリオンセラーを連発し、熱心なファンを持つカリスマクリエイター。

2006年にカプコンの常務執行役員に就任、開発チームのマネジメントやコンテンツの統括を行ってきた。その後2010年に独立し、株式会社conceptを立ち上げる。同社においても『SOUL SACRIFICE（ソウル・サクリファイス）』（PlayStation®Vita）、『おっさん☆たまご』（iPhone / Androidアプリ 180万ダウンロード突破！）など、独創的な話題作を次々と発表してきた。

2013年9月1日（日本時間）、米国のゲーム展示会Pax Prime2013にて、新作ゲーム『Mighty No. 9』プロジェクトを発表し、クラウドファンディングサイトのキックstarterを利用し、募集開始後、わずか40時間足らずで900,000ドルの開発資金を獲得した。

最終的には、「PayPal（オンライン決済システム）と合わせて支援金額は4,046,579ドルに登り、同様の仕組みを利用したコンシューマーゲームソフトとしては過去最高額の資金を獲得した。

株式会社デジタル・フロンティアの経歴

1994年に設立された、アニメ、映画、TV、ゲームムービー等の映像企画・制作を主な事業とする映像制作会社。国内有数の大規模CGプロダクション機能を持ち、アジア最大規模のモーションキャプチャスタジオも保有する。350名以上の才能あるクリエイターたちが作り出すハイクオリティなCG映像は、国内外で数々の賞を受賞している。

【代表作】

●映画 「Appleseed-アップルシード-」 （2004） 「EX MACHINA-エクスマキナ-」 （2007） 「鉄拳 ブラッド・ベンジェンス」 （2011） 「サマーウォーズ」 （2010） 「おおかみこどもの雨と雪」 （2012） 「バイオハザード ダムネーション」 （2012）	●ゲームムービー 「メタルギアソリッド4 ガンズ・オブ・ザ・パトリオット」 （2008） 「白騎士物語 -古の鼓動-」 （2008） 「鉄拳タッグトーナメント2」 （2012） 「メタルギア ライジング リベンジェンス」 （2013）
---	--

本プレスリリースに対する問い合わせ先：
株式会社デジタル・フロンティア
「Mighty No. 9」TVシリーズプロジェクトチーム
e-mail : mightyno9@dfx.co.jp

TVアニメシリーズ「Mighty No. 9」に関するQ&A

Q1:Game版「Mighty No. 9」のKickstarterで集められた出資金が、TVアニメシリーズに流用されることはないでしょうか？

A: Game版KickstarterはあくまでもGame「Mighty No. 9」を制作するために集められた出資金ですので、TVアニメシリーズの企画開発に流用されることはありません。TVシリーズ「Mighty No. 9」の制作資金に関しては、現在、別途当社が出資を募っております。

Q2: TVアニメシリーズの公開時期はいつですか？

A: 2016年秋の放送開始を目指し、企画開発中です。

Q3: TVアニメシリーズはどの国で放送されるのですか？

A: 同時ではありませんが、全世界において順次放送する予定です。

Q4: 監督、脚本家やショーランナー（製作総指揮者）は決定していますか？

A: 現在、監督、脚本家およびショーランナーの人選を当社で行っておりますが、決定はしていません。

Q5: TVアニメシリーズの出資者を教えてください。

A: 現在当社より、全世界において幅広い業界（放送局、玩具メーカー等のライセンスパートナーおよび投資家等）の方とお話をさせていただいておりますが、引き続きパートナーも募集させていただいております。

Q6: TVアニメシリーズを制作するのはどこですか？

A: 当社にて制作を担当させていただきます。ただし、コラボレーションできる制作共同パートナーも募集中です。

Q7: 声優のキャスティングは既に決定していますか？ティーザー映像でベック役を担当した声優が本編でもベックを演じるのでしょうか。

A: TVアニメシリーズ本編のキャスティングはすべて未定です。現在当社にて人選を行っております。

Q8: ティーザー映像のナレーションを担当したナレーターがTVアニメシリーズ本編でもナレーションを担当するのですか。

A: 彼が心からベックはヒーローになると信じるなら、TVアニメシリーズ本編のナレーションも彼に任せるかも知れません。

本プレスリリースに対する問い合わせ



本プレスリリースに対する問い合わせ先
株式会社デジタル・フロンティア
「Mighty No. 9」TVシリーズプロジェクトチーム
e-mail : mightyno9@dfx.co.jp



D I G I T A L F R O N T I E R